

白壁の文士たちⅡ

詩人たち―春山行夫・井口蕉花・高木斐瑳雄―

平成20年10月28日(火)～11月30日(日)



『青騎士』

◆郷土の文学公開講座

「白壁の詩人たち」

11月3日(月・祝日)



◆詩の朗読会

「白壁ゆかりの詩人たちの詩を聴く」

11月22日(土)

この日の午後、文化のみち二葉館の大広間は大正時代の雰囲気包まれました。

中部ペンクラブの方々のご協力
で実現した朗読会では、前半、佐藤二英、春山行夫などの詩を4人の詩人の方が朗々たる声で読まれ、とても贅沢な気持ちになりました。後半は白壁近辺の文士者についてのお話と4人の詩人の方たちが自作の詩を読まれました。詩を耳から聴く楽しさをあらためて感じた日でした。



9月13日～10月13日

「みんなで選ぼう！」

文化のみち市民遺産展



いつまでもなくなってしまう風景や建物などを市民から公募し、1ヶ月間、2階和室で展示を行いました。幅広い年齢層から(6～81歳)80通以上の応募をいただきました。ありがとうございました。

10月12日 正調名古屋甚句 無料講習会 参加者お披露目会

毎月1回「正調名古屋甚句を拡める会」代表の甚富華こと、華房真子さんを講師に迎え、講習会を開催しています。その受講者が名古屋まつりを祝って、練習の成果を発表。華房流華の会社中による端唄なども披露され、にぎわいました。



11月3日 歩こう！文化のみち

今年で8回目を迎えたウオークラリー。今年は一葉館玄関前から旧豊田佐助邸で折り返すコースで、人力車乗車サービス(着物の方無料)、二葉館西庭でオープンカフェを実施。風が冷たい一日だったので、温かいコーヒーは好評でした。



12月2日～7日

「貞奴が愛したきものたち」

～秋冬ものを中心に～

6月にも行われ大好評だった貞奴の着物企画第2弾。最終日には宮地利枝さんに着物の文様にまつわるお話をいただきました。



文化のみち物語 その八 春山行夫の 思い出の中の 主税町境界

白壁の詩人たちが活躍していた1920年代、東区は洋食器などの輸出用陶磁器の一大産地でした。青騎士の発行人であった井口蕉花は陶器画工の見習いとなり、のち転写紙製造の技を探究しました。春山行夫の父も上絵付けの仕事をしていました。春山は自著の中でしばしば記憶の中にある故郷を描いています。

私の生まれたのは名古屋城の東の主税町(ちからまち)で、主税町、白壁町、長辨町という武家屋敷の町が川の字状にならんでいた。桑畑と竹藪の多い町で、夜ふけになると竹藪でフクロウが鳴き、ごくまれに真夜中に遠方から笛と太鼓の音が流れてきた。あれは「天狗ばやしだ」と教わった。

私の生家は輸出陶器に画をつける小工場で、画はすべて油画風の手描きで、バラの花や風車のある川岸のような異国風

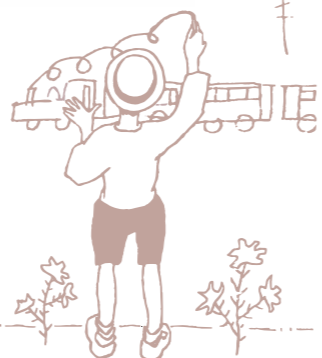


の家には、
ケイ・マツケイ
という看板がでていたの倉庫があって、
ワントインは丘陵の上だったの
で、大きな風車がまわっていた。
ある倉庫の広い内庭で、何千個
という輸出品のレモン色の綿製の
ヒヨコをならべて点検している
有様もみられた。

私の家は私が生まれた(二九〇二)直後に、同じ町内の、二三百メートルはなれた場所に引越して、そのあとに農産館と

のデザインであった。その頃、わが国の日常の食生活では、洋風陶器は使っていなかったため、白鳥の首のようにながいのテイ・ポットが珍しかった。
付近には六三(ロクサン) (横浜の六十三番館の出張所)や、三井物産や、ワントイン商会や、その他の貿易商 (小学校の級友の都築君

いう種苗商が移ってきた。この家は商売は別のところでやっていたらしく、人の出入りのない、ひっそりした住まいであった。その農産館がしばらくしてその隣接地に広い花壇をつくり、そこに西洋草花を植えるようになった。(中略)



「『花の文化史』昭和50年刊「あとがき」より」

したの日は日露戦役(一九〇四～五)以後とみられている。明治の終わり頃に西洋草花の花壇をつくった農産館は、当時の名古屋としては非常に新しい商売だったが、主税町は屋敷町で、人通りがすくなく、農産館では種子をとるために栽培していたのかもしれない。(後略)―

「私の父はいつも細い筆(それは何の毛で、こしらへたものかは知らな)で竹林聖哲園をさらさらと書いた。それは父が幼ない私達に書き興えたものであるが、或日、私は父の所有てゐた明治初年の和蘭陶器を見たことがあつてから(それは白耳義のものであつたかも知らない)私は異国のものも不思議な豪胆気を楽しむことを知った。私の中に一つの世界は、かかるひまに私の裡に育かれたものかも知らない。私が風車を思ひ美しい海を思ふのもじつはそんなところにあるのかも知らない。―
(詩集『月の出る町』大正13年刊「序に代えて 生い立ちの記から」より)